

平成29年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅲ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種 D.I.値の状況	10
4-3	業種別 D.I.値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	
5-1	回答実数	13
5-2	回答割合 (%)	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他のご意見	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成29年12月26日（火）～平成30年1月23日（火）
- (2) 調査対象期間：平成29年10月～12月期実施、及び平成30年1月～3月期見直し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）、の5業種158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

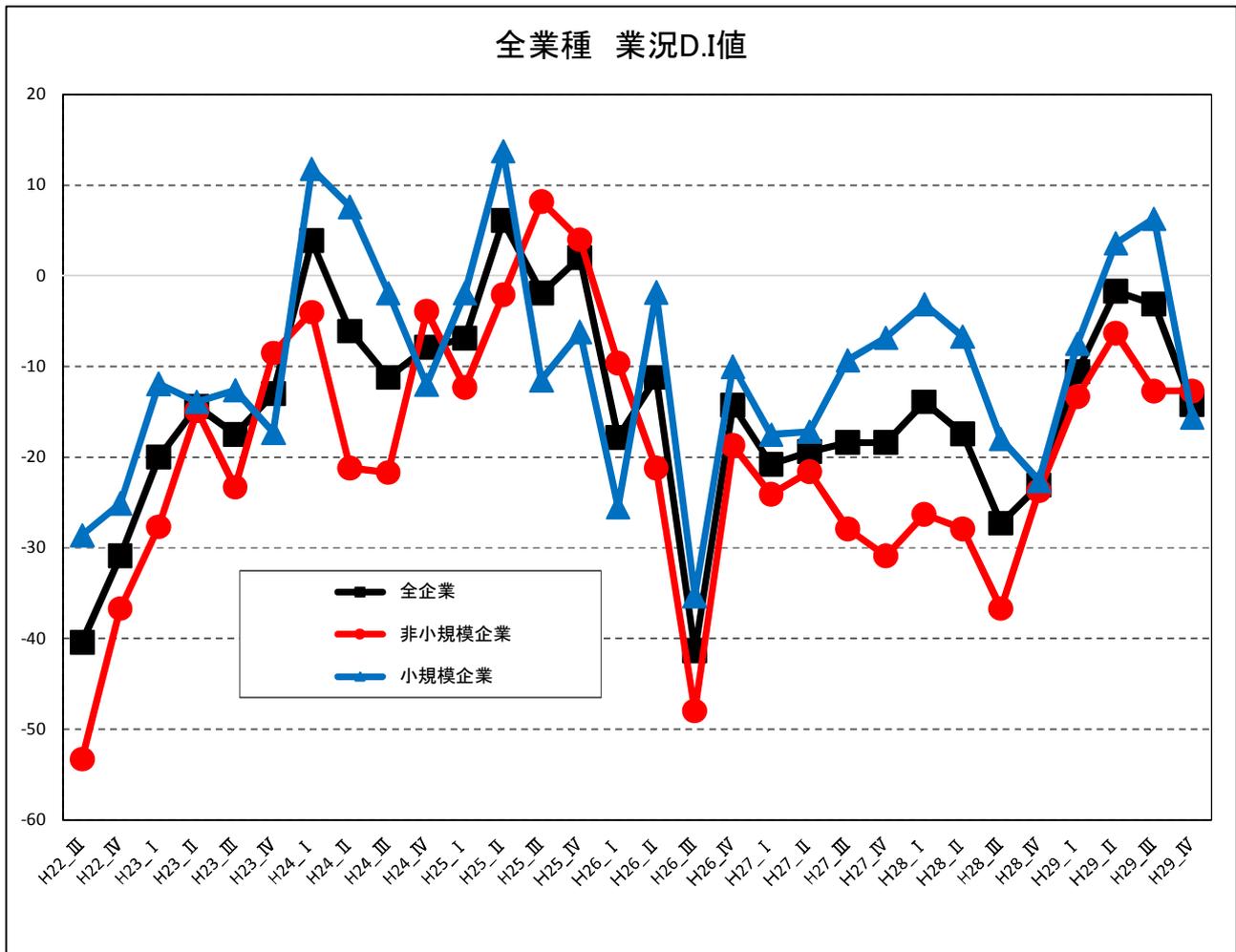
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	23件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:13件)	76.7%
製造業		24件	19件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:10件)	79.2%
卸売業		20件	17件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:8件)	85.0%
小売業		40件	31件 (非小規模企業:17件) (小規模企業:14件)	77.5%
サービス業		44件	37件 (非小規模企業:18件) (小規模企業:19件)	84.1%
合計		158件	127件	80.4%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成29年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の業況は、前年同期比で「好転企業」25.2%、「悪化企業」28.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲3.1と前期に比べ1.4ポイント悪化しました。規模別で見ると、小規模企業のD.I.値は2.7ポイント改善し6.3、非小規模企業は6.4ポイント改善し▲12.7となりました。全体としては、改善傾向にあるものの、15期連続のマイナス水準であることから、網走市における景気停滞感は依然として続いています。

業種別でみた業況は、サービス業が2.3ポイント改善して16.2、製造業35.3ポイント改善して5.3と回復傾向にあります。ただし、建設業は前期の21.7から39.1ポイントも悪化し▲17.4となっており、業種間によってかなりの開きがみられます。

次期<1月～3月>の業況判断D.I.は0.9ポイント改善の▲14.2を予想しており、規模別で見ると、小規模企業のD.I.値は▲15.6、非小規模企業は▲12.7となっています。業種別では建設業▲21.7、製造業▲5.7、卸売業▲17.6、小売業▲32.3、サービス業2.7となっており、多くの業種で先行きに不安感が見られます。

経営上の問題点としては、「人材不足」が圧倒的に高く(回答の55.9%)、次いで「諸経費増」、「売上の不振」が続きます。

全体としては景気の停滞感から回復・改善傾向が確認されるものの、業種によって極端な開きが確認されます。サービス業ではこれから冬の流氷観光シーズンを迎えることから、業況も改善傾向にあることが推測されます。一方、建設業や小売業では大幅な業況の悪化が見込まれていることから、経営改善に向けた対応がより求められている状況にあると推測されます。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0 %	33.3 %	-33.3	↘
非小規模企業	10.0 %	50.0 %	-40.0	↘
全 体	4.5 %	40.9 %	-36.4	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	16.7 %	16.7 %	0.0	→
非小規模企業	10.0 %	60.0 %	-50.0	↘
全 体	13.6 %	36.4 %	-22.8	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	23.1 %	30.8 %	-7.7	↘
	非小規模企業	0.0 %	40.0 %	-40.0	↘
	全 体	13.0 %	34.8 %	-21.8	↘
完成工事高	小規模企業	15.4 %	53.8 %	-38.4	↘
	非小規模企業	10.0 %	40.0 %	-30.0	↘
	全 体	13.0 %	47.8 %	-34.8	↘
資金繰り	小規模企業	15.4 %	30.8 %	-15.4	↘
	非小規模企業	0.0 %	20.0 %	-20.0	↘
	全 体	8.7 %	26.1 %	-17.4	↘

(2) 製造業

■生産高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	50.0 %	10.0 %	40.0	↗
非小規模企業	33.3 %	44.4 %	-11.1	↘
全 体	42.1 %	26.3 %	15.8	↗

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0 %	20.0 %	-10.0	↘
非小規模企業	11.1 %	66.7 %	-55.6	↘
全 体	10.5 %	42.1 %	-31.6	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	20.0 %	20.0 %	0.0	→
	非小規模企業	22.2 %	33.3 %	-11.1	↘
	全 体	21.1 %	26.3 %	-5.2	↘
生産高	小規模企業	20.0 %	20.0 %	0.0	→
	非小規模企業	22.2 %	33.3 %	-11.1	↘
	全 体	21.1 %	26.3 %	-5.2	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	11.1 %	-11.1	↘
	全 体	0.0 %	5.3 %	-5.3	↘

(3)卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	50.0 %	25.0 %	25.0	↗
非小規模企業	33.3 %	33.3 %	0.0	→
全 体	41.2 %	29.4 %	11.8	↗

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	25.0 %	25 %	0.0	→
非小規模企業	22.2 %	11.1 %	11.1	↗
全 体	23.5 %	17.6 %	5.9	↗

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0 %	62.5 %	-62.5	↘
	非小規模企業	33.3 %	11.1 %	22.2	↗
	全 体	17.6 %	35.3 %	-17.7	↘
売上高	小規模企業	0.0 %	62.5 %	-62.5	↘
	非小規模企業	44.4 %	33.3 %	11.1	↗
	全 体	23.5 %	47.1 %	-23.6	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	50.0 %	-50.0	↘
	非小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	全 体	0.0 %	23.5 %	-23.5	↘

(4)小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	21.4 %	50.0 %	-28.6	↘
非小規模企業	29.4 %	29.4 %	0.0	→
全 体	25.8 %	38.7 %	-12.9	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	14.3 %	50.0 %	-35.7	↘
非小規模企業	11.8 %	47.1 %	-35.3	↘
全 体	12.9 %	48.4 %	-35.5	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	7.1 %	42.9 %	-35.8	↘
	非小規模企業	5.9 %	35.3 %	-29.4	↘
	全 体	6.5 %	38.7 %	-32.2	↘
売上高	小規模企業	7.1 %	50 %	-42.9	↘
	非小規模企業	11.8 %	35.3 %	-23.5	↘
	全 体	9.7 %	41.9 %	-32.2	↘
資金繰り	小規模企業	7.1 %	21.4 %	-14.3	↘
	非小規模企業	0.0 %	31.3 %	-31.3	↘
	全 体	3.3 %	26.7 %	-23.4	↘

(5) サービス業

■ 売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	15.8 %	5.3 %	10.5 ↗
非小規模企業	50.0 %	33.3 %	16.7 ↗
全 体	32.4 %	18.9 %	13.5 ↗

■ 採 算

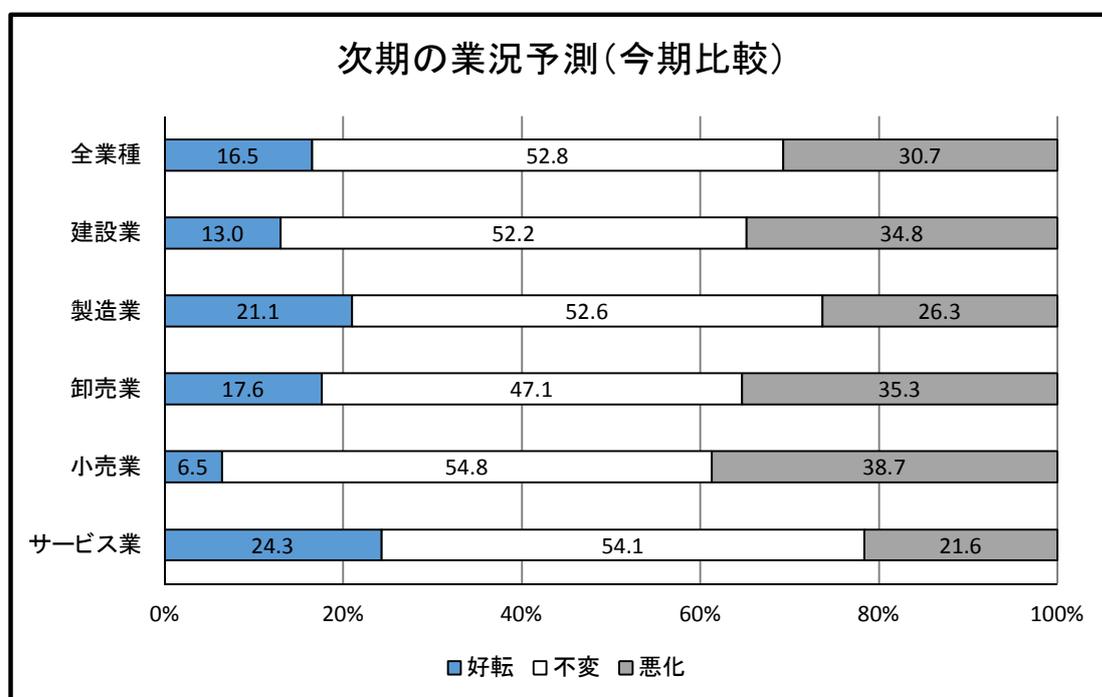
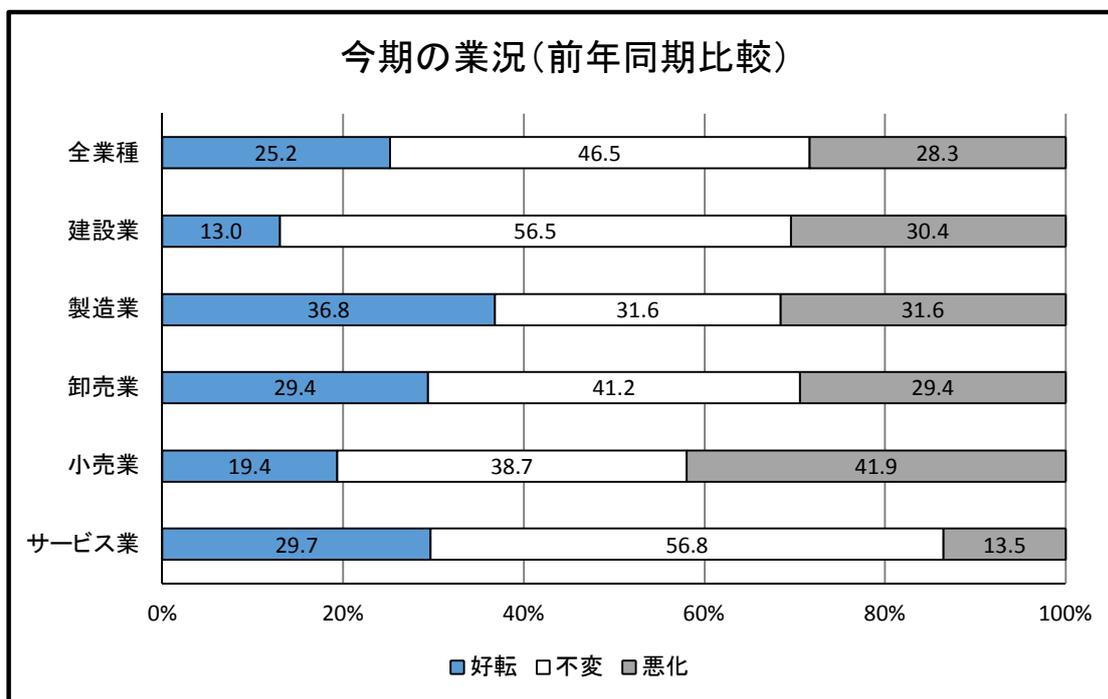
規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	10.5 %	0 %	10.5 ↗
非小規模企業	33.3 %	16.7 %	16.6 ↗
全 体	21.6 %	8.1 %	13.5 ↗

■ 次期の見通し

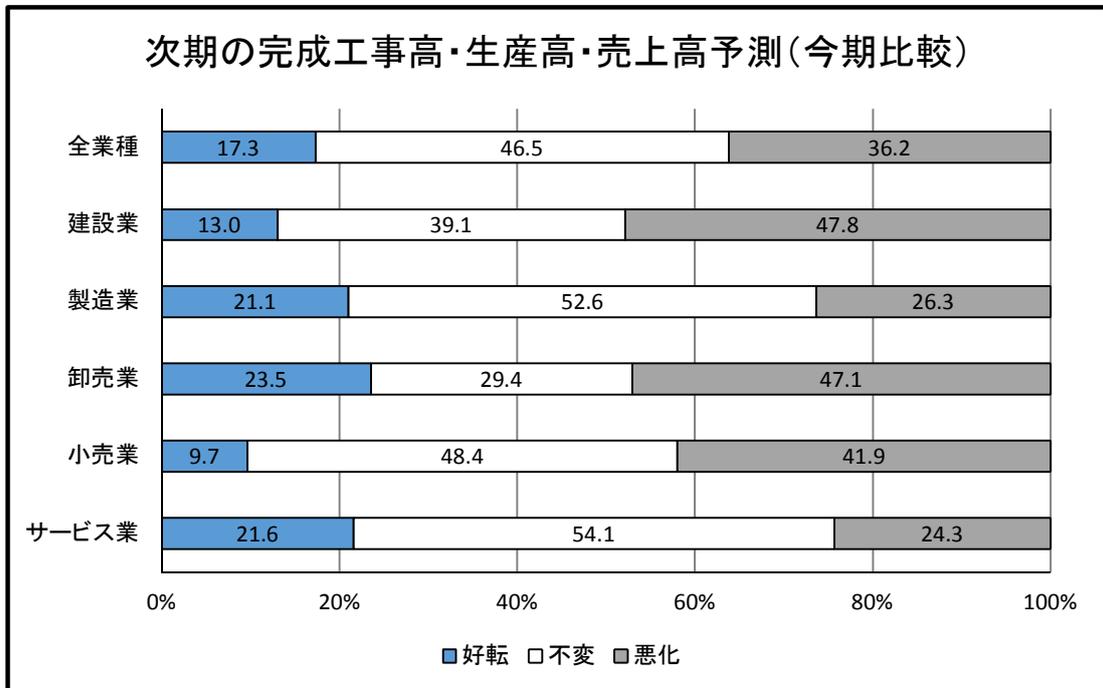
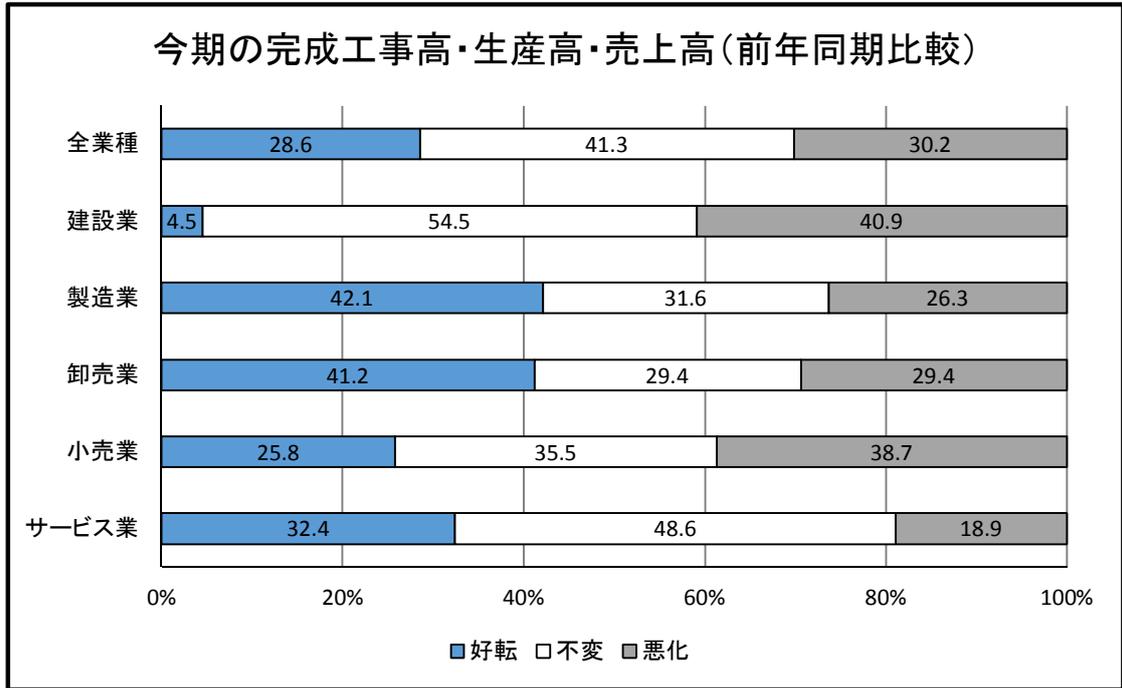
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値
業況	小規模企業	21.1 %	15.8 %	5.3 ↗
	非小規模企業	27.8 %	27.8 %	0.0 →
	全 体	24.3 %	21.6 %	2.7 ↗
売上高	小規模企業	15.8 %	15.8 %	0.0 →
	非小規模企業	27.8 %	33.3 %	-5.5 ↘
	全 体	21.6 %	24.3 %	-2.7 ↘
資金繰り	小規模企業	5.3 %	15.8 %	-10.5 ↘
	非小規模企業	11.1 %	11.1 %	0.0 →
	全 体	8.1 %	13.5 %	-5.4 ↘

第3章 各判断項目回答割合

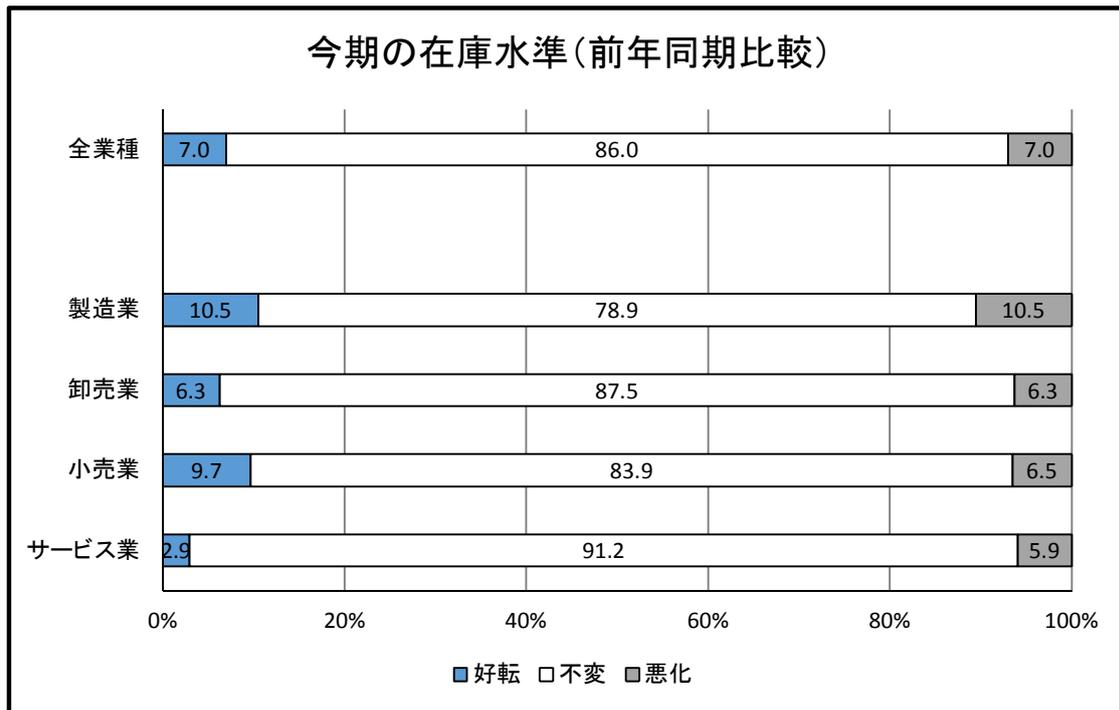
3-1. 業況



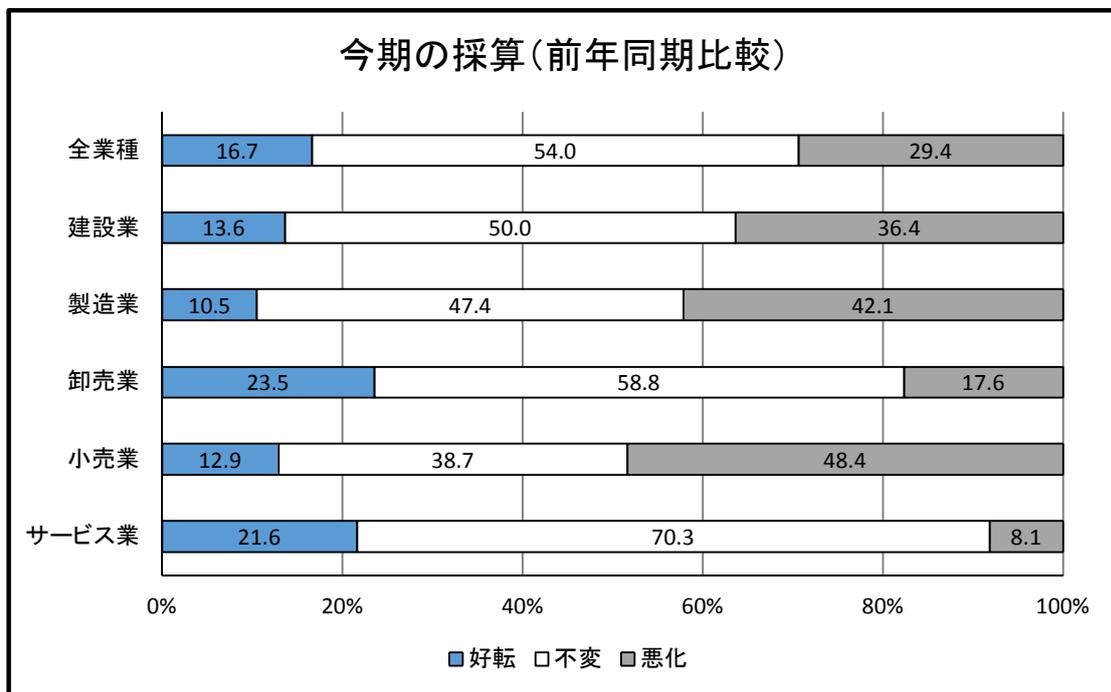
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



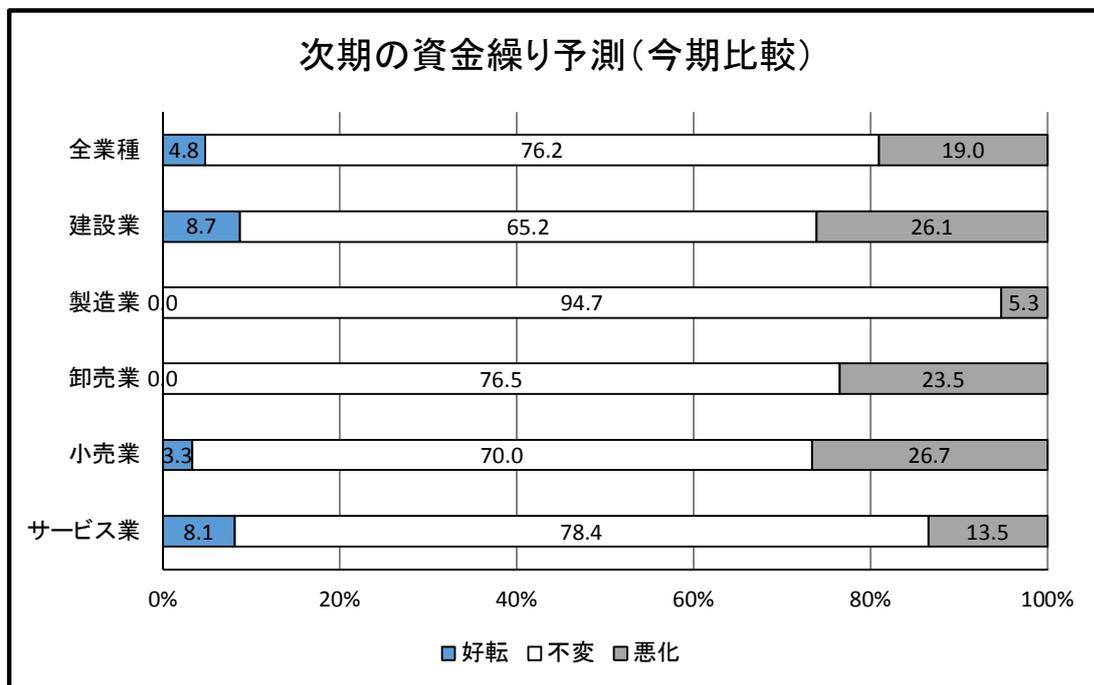
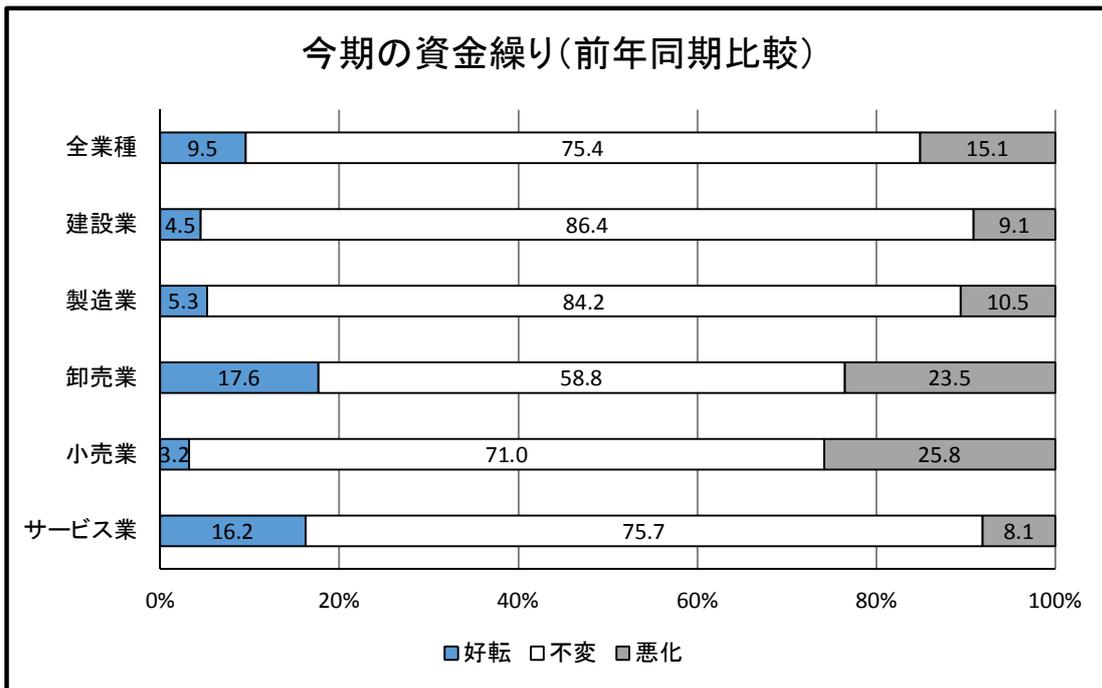
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

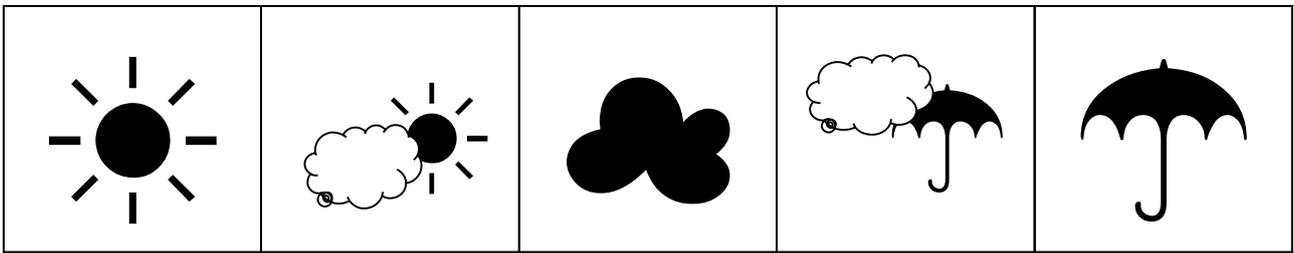


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

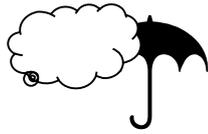
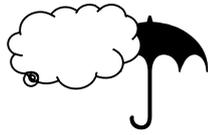
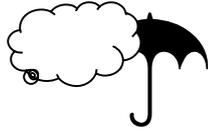
好 調
(50 > D.I. ≥ 25)

まあまあ
(25 > D.I. ≥ 0)

不 振
(0 > D.I. ≥ ▲25)

きわめて不振
(▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I.値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲ 3.1	 ▲ 14.2
売 上	 ▲ 1.6	 ▲ 18.9
採 算	 ▲ 12.7	/
資金繰り	 ▲ 5.6	 ▲ 14.3

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 ▲ 17.4	 ▲ 21.7
	完成工事高	 ▲ 36.4	 ▲ 34.8
	採算	 ▲ 22.7	
	資金繰り	 ▲ 4.5	 ▲ 17.4
製造業	業況	 5.3	 ▲ 5.3
	生産高	 15.8	 ▲ 5.3
	採算	 ▲ 31.6	
	資金繰り	 ▲ 5.3	 ▲ 5.3
卸売業	業況	 0.0	 ▲ 17.6
	売上	 11.8	 ▲ 23.5
	採算	 5.9	
	資金繰り	 ▲ 5.9	 ▲ 23.5

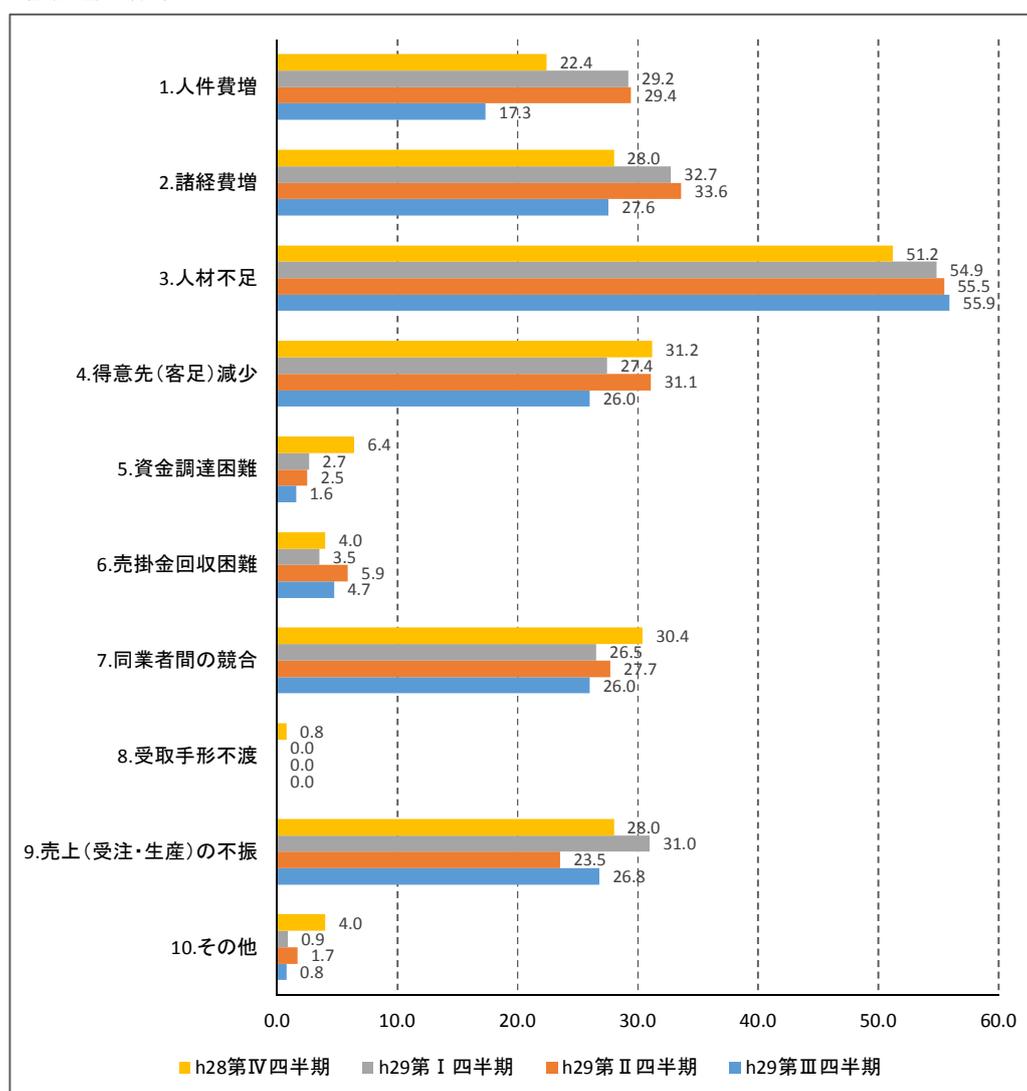
	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小売業	業況	 ▲ 22.6	 ▲ 32.3
	売上	 ▲ 12.9	 ▲ 32.3
	採算	 ▲ 35.5	/
	資金繰り	 ▲ 22.6	 ▲ 23.3
サービス業	業況	 16.2	 2.7
	売上	 13.5	 ▲ 2.7
	採算	 13.5	/
	資金繰り	 8.1	 ▲ 5.4

第5章 産業別経営上の問題点

5-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増 同業者間の競合		人件費増
製造業	人材不足	諸経費増 同業者間の競合		売上の不振	得意先減少
卸売業	人材不足	同業者間の競合	得意先減少	売上の不振	諸経費増
小売業	得意先減少	人材不足	売上の不振	同業者間の競合	人件費増
サービス業	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振
合計	人材不足	諸経費増	売上の不振	得意先減少 同業者間の競合	

5-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第6章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	8件	34.8	6件	31.6	3件	17.6	6件	19.4	9件	24.3	32件	25.2
しない	15件	65.2	13件	68.4	14件	82.4	24件	77.4	28件	75.7	94件	74.0
無回答	-	-	-	-	-	-	1件	3.2	-	-	1件	0.8
合計	23件	100.0	19件	100.0	17件	100.0	31件	100.0	37件	100.0	127件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを示している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	-	-	-	1件	1件	2件
店舗	-	-	1件	1件	-	2件
販売設備	-	-	-	1件	-	2件
車両運搬具	8件	1件	1件	3件	3件	16件
付帯設備	1件	5件	2件	2件	4件	14件
OA機器	3件	-	1件	-	1件	5件
福利厚生施設	-	1件	-	-	1件	2件
その他	-	1件	-	-	1件	2件

※複数回答があるため、表6-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(2件記述有り)

・生産設備(製造業)、施術用遠赤外線灯(サービス業)

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・相変わらず人手不足。仕事量はそんなに増えていない。人材を確保するために単価を上げざるを得ない。
- ・高齢者が多い中、年毎に作業員が少なくなり、大変な年になりそう。
- ・9月～12月は集中し、1月～4月は冬期間でもあるので仕事が少なくなり、5月・6月はもっと少なくなり、7月・8月はますますと、1年の内で仕事量がばらついている。

【製造業】

- ・組合加盟率の低下、開級、資材の値上がり、価格改訂が難しい。
- ・人手不足。高齢化等。
- ・原料の値上がりが大きく、製品も値上げしたいが実施はきびしい。

【卸売業】

- ・メーカーの会社組織が変更され、新しい経営者からの支払サイドが短くされて、それにより資金繰りがやや厳しい状態になっている。
- ・去年の天候が極地的に悪化したところに顧客の畑があり、予定していた秋納品が減少したり無くなったりした。比較的大きな金額の客だったため、厳しい状態になってしまっている。今後の方向性についても御相談に伺いたい。

【小売業】

- ・とにかく人がいない。社員募集しても全くありません。どの業種もそのような状態の様であり不安である。

【サービス業】

- ・人材確保が困難。欠員が埋まらないため、営業日、営業時間にも影響が出ている。
- ・業界では、従業員の高齢化が言われて久しい。これは全業種に広がっていると思われる。高齢者の活用、女性の社会進出の後押し等人材確保が重要。
- ・いつもと同様ですが、一般的な宣伝広告が行えないため、まだまだ認知不足と感じている。デフレからインフレ傾向になり、コーヒー豆や各種食材、備品などの価格が上昇している。売り上げが微増だと、諸経費の高騰具合でマイナス効果に転ずることもある。依然として綱渡りが続いている・・・。
- ・仕事があるのに人材が不足している。